

事業所の地球環境保全活動

各事業所ごとの徹底的な取り組みを行っています。

建物建設に伴う環境配慮

TDKでは、新たに工場などの建物を建設する際には、環境に配慮して設計や施工を行うよう、建築業者に要請しています。1999年に完成した八幡テクニカルセンターE2棟や成田工場D3棟では、施工時に

- 1：建築廃材の持ち帰り、適正処理の確認
- 2：建築部材の化学物質含有量調査
- 3：建築塗料の管理、水質管理
- 4：工事騒音の低減

などを徹底させ、近隣への配慮も含め環境負荷低減を行いました。また、設計段階から環境に配慮し、

- 1：採光式照明装置による省エネ
- 2：蓄熱式空調設備導入(夜間電力の活用)

などを行いました。

テクニカルセンター
廃棄物置場の新設：廃棄物の分別、管理を徹底するため、廃棄物置場を新設しました。



成田工場D3棟 蓄熱式空調設備

厨房の処理設備の導入(千曲川工場)

食堂から出る厨房の処理のため、微生物による分解装置を導入しました。これは一般的なコンポスト処理ではなく、ほぼ完全に水と炭酸ガスに分解できるため、残渣の発生がほとんどありません。

水質の遵守状況

1999年度は、1事業所の雨水経路から排水基準を超える鉛が検出されたため、原因を調査したところ、集塵装置から漏れた原材料の鉛化合物が屋根にたまり、雨水によって流出したものと判明しました。

再発防止策として全排気系の測定と集塵機の点検を実施し、設備の構造改善と作業手順の改善を行いました。改善後の雨水測定結果では、未検出で問題はありません。

土壌浄化対策

塩素系有機溶剤の残留に関し、敷地の一部で土壌に関する環境基準を満たさなかった1事業所では、浄化対策を実施しており、汚染範囲や濃度については大きな改善があるものの、最終的な浄化完了には至っていません。現在、新規の対策追加を含め、浄化を進めています。また、他の事業所においては、定期的に地下水の測定、監視を継続しており、問題はありません。



地下水の監視測定



千曲川工場 厨房処理施設

